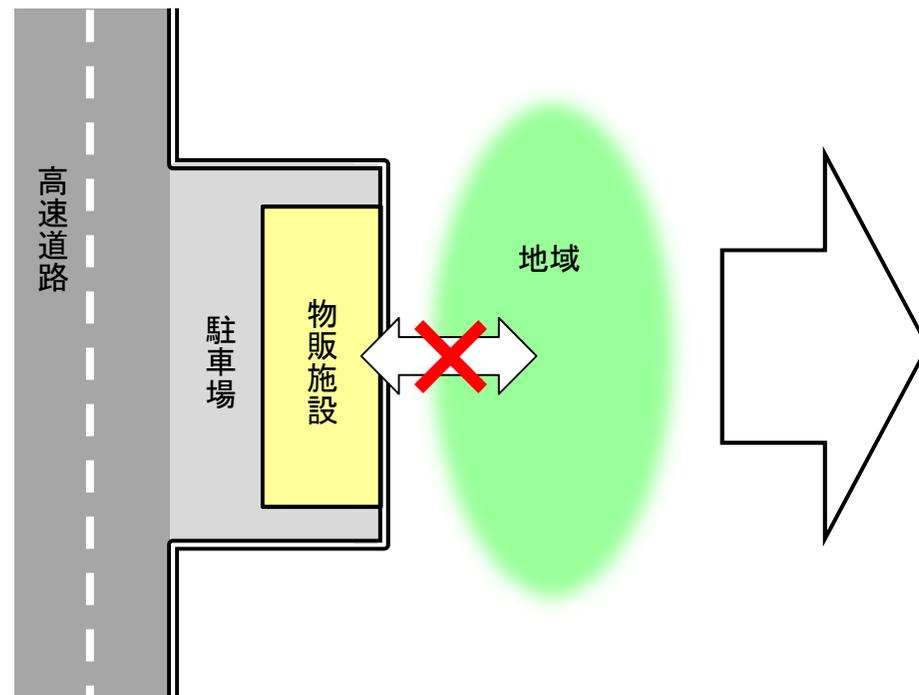
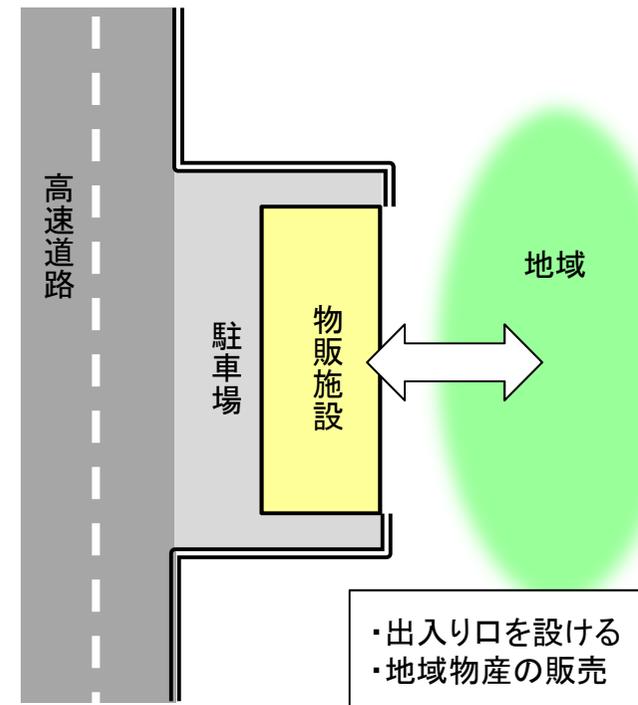


- 従来、高速道路利用者だけの使用を前提とした「高速道路の休憩施設」は、近年、ウェルカムゲート※1やハイウェイオアシス※2等により、沿道地域からの利用も可能に
(全国で862箇所のSA・PAのうち、ウェルカムゲート214箇所、ハイウェイオアシス23箇所)
- 観光振興や地域活性化の核となる地域に開かれた、先駆的な取組をモデル箇所として選定し、関係機関が連携して総合的に支援※3

<従来>



<観光振興や地域活性化の核としての取組>



- ※1 ウェルカムゲート : 人が高速道路外から高速道路の休憩施設に自由に行き来可能
- ※2 ハイウェイオアシス : 高速道路から出ることなく一般道路側の施設を利用可能
- ※3 既に取組が行われている箇所での機能強化も対象

高速道路の休憩施設を活用した更なる地域の活性化に向けた取組

<選定・支援対象>

- ・高速道路の休憩施設において、高速道路会社と連携して、地域をさらに活性化させるため、沿道からの利用を促進する取組を実施する地方自治体(都道府県、市町村)

<主な支援内容>

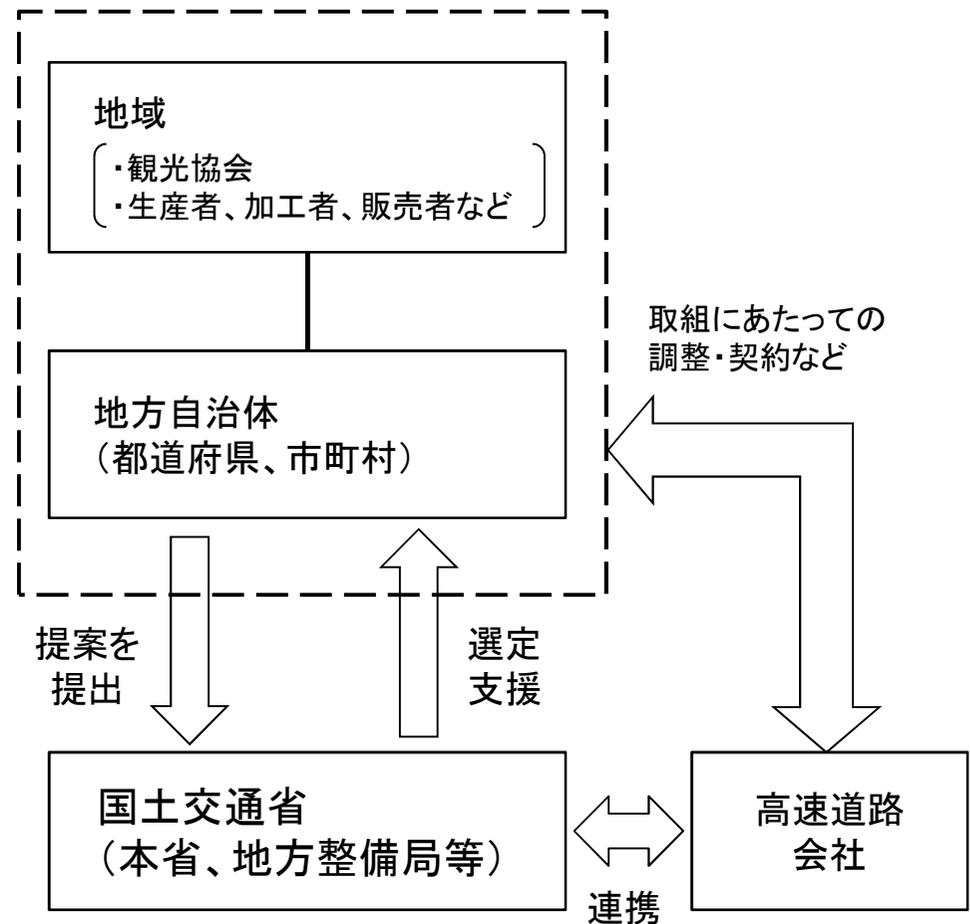
(ハード面)

- ・一般道側の駐車場の整備や周辺道路の改良などに対する支援(社会資本整備総合交付金)
- ・ウェルカムゲートの設置
(一定の利用が見込める等、高速道路会社が設置を決定するものに限る)

(ソフト面)

- ・国土交通省、高速道路会社、地方自治体の3者が参画した検討・調整体制の構築

<取組の体制>



高速道路の休憩施設を活用した更なる地域の活性化に向けた取組

<選定の流れ>

